

カーボンフットプリント (CFP) 算定シート使い方マニュアル (別冊) CFP事例集

大阪府 環境農林水産部
脱炭素・エネルギー政策課

2025年 (令和7年) 10月



サヤ株式会社

算定

目的



- 持続可能な食の文化や新たな調理プロセスの提案を通じ、日本の安全・安心で美味しい食品を日本中・世界中に広める
- 自社の急速凍結技術がCO₂排出量削減につながるか否かをCFPにより定量的に把握する

対象製品・算定結果



算定によりわかったこと



- 急速凍結機を活用した運用でも、CFPの差は大きくはならない
- 急速冷凍機による以下のメリットを踏まえると、差は許容できる範囲内
 - フードロス削減による排出量削減
 - 人手不足・人材不足などの対応として毎日調理ではなく、まとめて事前調理によるエネルギーコストと排出量削減 (提供当日は再加熱提供で対応可能)

表示

- 大阪府カーボンフットプリントセミナーにてCFPを公表
(<https://www.pref.osaka.lg.jp/documents/84355/seminarshiryou.pdf>)



削減を考えるための方向性 (大阪府事業からの提案; 一部)

削減



- より排出量の少ない原材料の調達
 - 畜産プロセスの飼料をより環境負荷の小さいものに変更
 - 漁船の燃料の脱炭素化、低炭素化
- 生産工程の再エネ導入等

三起商行株式会社

算定

目的



- 良いモノづくりをしていることで環境負荷を減らせる、というストーリーを実践する
- 企業として上記ストーリーの重要性を念頭に、CO₂排出に係るホットスポットを特定する

対象製品・算定結果



算定によりわかったこと



- トレーナーを1世代限りで廃棄した場合と比較し、3世代で使い続けた場合のCO₂排出量は56%削減

表示

- 展示会でデカボスコアとして表示



削減を考えるための方向性 (大阪府事業からの提案; 一部)

削減



- オーガニックコットンや天然素材由来の生地に変更
- 段ボールの形状の工夫による使用量削減
- 再エネ導入 等

ミズノ株式会社

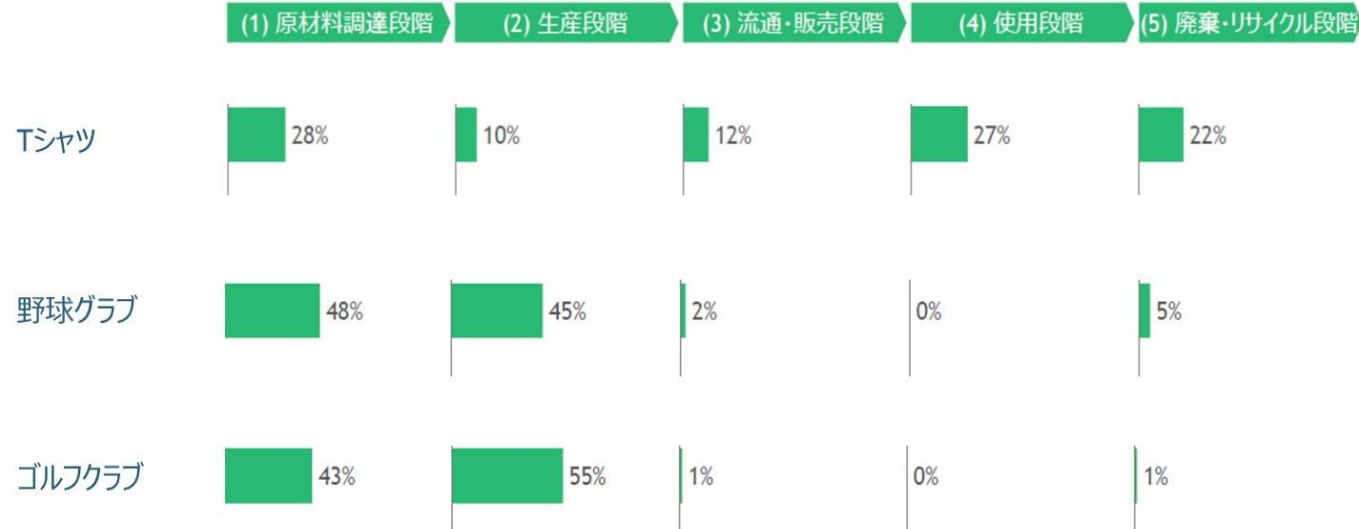
算定

目的



- 環境だけではなく社会・経済も含め、調和の取れた事業発展を目指す
- 長期環境目標およびKPI達成に向けて既に始動しているCFPの取り組みの加速化を目指し、正確性と業務負荷のバランスの取れた算定の「型」を確立する

対象製品・算定結果



算定により わかったこと



- 一次データを入手して算出することの重要性
- 原材料調達、流通や販売などの輸送時の排出に関する考え方
- 一次データの取得が難しい場合のシナリオの考え方

表示

- 大阪府カーボンフットプリントセミナーにてCFPを公表
(<https://www.pref.osaka.lg.jp/documents/84355/seminarshiryou.pdf>)



削減を考えるための方向性

削減



- 省エネルギーや再生可能エネルギーの活用
- 製品製造工程の革新
- 廃棄物削減
- リサイクルの推進などの活動の加速 等

コクヨ株式会社

KOKUYO

算定

目的



- Scope3の“購入した製品・サービス”によるGHG排出量の削減に向け、自社/サプライヤーによるCFP算定・削減の影響を見える化する
- 幅広い製品へのCFP表示に対応できるようにするため、モデル事業にて算定の簡素化/型化を目指す

対象製品・算定結果



	(1) 原材料調達段階	(2) 生産段階	(3) 流通・販売段階	(4) 使用段階	(5) 廃棄・リサイクル段階	合計
キャンパスノート	0.22 63% つなげるーば	0.02 6%	0.05 14%	0.00 0%	0.05 14%	0.35 kg-CO ₂ e
フラットファイル	0.08 50%	0.02 13%	0.03 19%	0.00 0%	0.03 19%	0.16 kg-CO ₂ e
テープのり	0.07 19%	0.12 32%	0.03 8%	0.00 0%	0.15 41%	0.37 kg-CO ₂ e
ワークステーション	469.99 80%	85.64 15%	12.89 2%	0.00 0%	19.89 3%	588.41 kg-CO ₂ e
イス	44.43 75%	4.50 8%	0.57 1%	0.00 0%	9.80 17%	59.30 kg-CO ₂ e

算定によりわかったこと



- 環境配慮型製品のCFP削減への影響
 - つなげるーば、スマートキャンパス、オール紙フラットファイル等、CFP削減に繋がる既存製品の普及が削減への近道
 - 材料の軽量化やプラスチックから紙への置き換えが有効

表示

- 自社サイトにて大阪府モデル事業にて算定した5製品のCFPを公表
<https://www.kokuyo.co.jp/sustainability/environment/climate/case/#climate-case-04>

削減を考えるための方向性 (大阪府事業からの提案; 一部)

削減



- CFP削減に繋がる既存取組の推進
 - スマートキャンパス (中紙重量削減)
 - オール紙フラットファイル
- リサイクル推進 (= 焼却廃棄量の削減) 等



担当: 大阪府 環境農林水産部 脱炭素・エネルギー政策課
事務局: ポストン コンサルティング グループ合同会社
発行: 初版 2025年(令和7年) 3月
改定第2版 2025年(令和7年) 10月